

R 6 進路だより

Vol.6

進路指導～中学部の実際～

中学部では、クラフト班、ソーイング班、ファーム班の3班で作業学習を行っています。作業学習を通して、「挨拶、返事」「報告、連絡、相談」など「職業準備性ピラミッド」における基本的労働習慣を育むことをねらいの1つとしています。また、作業製品作りでは「お客さんのために」という相手意識や、「お客さんに製品を買ってもらった」という喜びや達成感を味わうことも大切に行っています。特にPTAや地域の販売会における経験が「お客さんが喜んでくれた」「販売のために、また作りたい」と製品作りへの意欲向上につながっています。

また、一定時間仕事をする体力や、自分から報告、相談する力は中学部段階からの少しずつの積み重ねが大切です。「職業準備性ピラミッド」にもあるように、健康管理や基本的な生活リズムなども、生活を維持する上で必要です。学校と家庭とが協力しながら、在学中から様々な力を育てていきたいと考えます。

職業準備性ピラミッド



健康管理や日常生活管理が土台となっていることが分かります。この力は小学部段階から段階を踏んで身に付けておく必要があります。働くための基盤づくりを大事にしましょう。

図：「進路あんしん情報ガイド」より「職業準備性ピラミッド」

販売会～学部PTA、通の市～

自分の役割を最後まで



「お客さんのために」～丁寧な作業～

自分から報告・相談

集中して作業



保護者からのQ & A

保護者からのQ & Aのコーナーでは、「進路のイメージがわからない」「〇〇の制度について教えてほしい」など、保護者の皆様からの御質問にお答えします。右のQRコードから、気軽に御質問ください。

